

# LGBT法 連合会

平成29年衆議院議員選挙に際して  
LGBT（性的指向・性自認）をめぐる課題に関する  
各立候補者の政策と考え方に関する調査

立候補（予定）者のお名前（ よしかわ貴盛 ） 所属政党（ 自民党 ）  
（ 北海道第2 ）選挙区 ・ 比例区

問1 貴殿が今回の衆議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかのLGBT支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？（単独回答）

1. LGBTの課題として、既に含まれている
2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている
3. 将来入る可能性はある
4. 将来入る可能性はない
5. その他（具体的に： ）

問2 個人としての、LGBT当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人からLGBTであることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうなさいますか？（複数回答可）

1. その人を尊重し応援したいと思う
2. 距離をおきたいと思う
3. 差別や偏見で苦勞するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるように諭す
4. 答えられない／分からない
5. その他（具体的に：

（コメント）わが党としては、カムアウトできる社会ではなく、カムアウトする必要のない、互いに自然に受け入れられる社会を実現します。すなわち、勧告の実施や罰則を含む差別の禁止とは一線を画し、あくまで社会の理解増進を図りつつ、当事者の方が抱える困難の解消を目指します。

問3 LGBT 支援政策の下記の①～⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選択肢 1～5 から選び、ご記入下さい。

	る 普遍的な制度とすべきである	法律で義務化し、全国的に の裁量に委ねるべきである	ず、行政（省庁・自治体） 法律にて具体策は規定せ である	現場の裁量にゆだねるべき である	わからない	その他/ 1-4 から選択肢を選んだうえでの補足、 等（自由回答）
① 性的指向・性自認と、LGBT 当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う	1	2	3	4	5（コメント次ページ）	
② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBT へのいじめ・差別を防止する	1	2	3	4	5（コメント次ページ）	
③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る）の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する	1	2	3	4	5（コメント次ページ）	
④ 学校・職場における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する	1	2	3	4	5（コメント次ページ）	
⑤ 困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する	1	2	3	4	5（コメント次ページ）	
⑥ LGBT に対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する	1	2	3	4	5（コメント次ページ）	
⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBT に配慮した、サービスや施設面の対応を推進する	1	2	3	4	5（コメント次ページ）	

●問3

①（回答）5

（コメント）国民に対し、性的指向・性自認に関する広く正しい理解の増進に努め、自分らしく生きることができるような社会が望ましく、社会の理解を広げ、多様性を受け入れていく社会の実現を図ることが必要と考えます。

②（回答）5

（コメント）性的志向・性自認によるいじめも含め、「いじめ防止対策推進法」及び「いじめ防止基本指針」に基づいた総合的ないじめ対策を一層進めるとともに、いじめや差別を許さない適切な生徒指導・人権教育をさらに推進することが必要と考えます。

③（回答）5

（コメント）政府としては、一億総活躍社会を掲げ、様々な施策に取り組んでおります。わが党としても、各省庁が連携して取り組むべき施策を推進し、多様性を受け入れていく社会の実現を図ることが必要と考えます。

④（回答）5

（コメント）性的指向・性自認によるいじめも含め、「いじめ防止対策推進法」及び「いじめ防止基本指針」に基づいた総合的ないじめ対策を一層進めるとともに、いじめや差別を許さない適切な生徒指導・人権教育をさらに推進することが必要と考えます。

⑤（回答）5

（コメント）きめ細やかな相談対応や適切な措置ができる体制を整えるべく、政府に求めて参ります。

⑥（回答）5

（コメント）すでに人権課題の一つとして「性的志向」「性同一性障害」が取り上げられているところ、人権侵犯事件の調査救済や人権相談、人権啓発等の実施において、より一層の周知を図るとともに、適切な対応がとられるよう人権擁護委員をはじめ、対応者への研修等を通じ、正しい知識の周知を図ることが必要と考えます。

⑦（回答）5

（コメント）政府としては、一億総活躍社会を掲げ、様々な施策に取り組んでおります。わが党としても、各省庁が連携して取り組むべき施策を推進し、多様性を受け入れていく社会の実現を図ることが必要と考えます。

問4 世界では、現在41の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

1. 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ
2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ
3. 現在の婚姻に加えて、（事実婚など異性間でも、）同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ
4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ（渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市等の例にならぬ）
5. こうした制度は異性間のものであるべきで特に必要ない
6. 答えられない／分からない
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**（コメント）性的指向・性自認に関する理解促進や当事者等の不当な取り扱いの防止について一層の施策の深化・強化の必要性について常に検討を続け、必要と認められるものから直ちに実施することが必要と考えます。**

問5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面するLGBT当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

（自由記述）

**●問5（コメント）わが党では、昨年、性的指向・性自認に関する特命委員会を立ち上げ、様々な議論の中で理解を深めて参りました。その中で、「性的指向・性自認の多様なあり方を受容する社会を目指すためのわが党の基本的な考え方」をとりまとめ、政府に対し、33項目にわたる「性的指向・性自認の多様なあり方を受容する社会を目指すための政府への要望」を申し入れております。今後も引き続き、社会の理解増進を図り、多様性を受け入れる社会を目指します。**

\* 以上